



現場レポート

# 世界の拠点から地球環境を守る。

世界45カ国からなる矢崎グループの現場では、さまざまな環境保全活動を、工夫を凝らしながら従業員が一丸となって取り組んでいます。

そんな“世界の拠点”の取り組みをピックアップしてご紹介します。

## 中国・TJYの取り組み 地域社会全体を視野に入れた環境保全活動

ワイヤーハーネスの製造と販売および金型設計を行う天津矢崎汽車配件有限公司(以下、TJY)は、1988年に創業し、現在7,000名が地域社会全体を視野に入れた環境保全活動に取り組んでいます。

### 従業員一丸となった取り組み

TJYでは、環境経営の管理ツールとして2001年にISO14001認証を取得しました。また、汚染物質の排出量削減をめざし、24時間体制で工場排水を監視しています。この監視システムは天津市とネットワークでつながっており、緊急時にはアラームが鳴る仕組みです。2015年度は、すべての項目で排出基準を下回りました。

廃棄物量の削減については、5Rを推進し、ポスターを作成・掲示するなどして積極的な啓発活動を行っています。

さらに事業所周辺の清掃美化活動など、従業員が一丸となって環境保全に努めています。

### サイトレポートを発行

中国では「企業単位環境情報公開法」(条例)が施行され、大規模な環境汚染物を排出する事業主は環境情報の開示を義務づけられています。TJYには法的義務はありませんが、ステークホルダーの皆様に信頼を深めていただくため、2014年度より、年に1度『TJY環境報告書』を発行しています。



TJY環境報告書

矢崎グループの社会的な責任を果たすためにも、発行を継続する予定です。

## タイ・TAPの取り組み 省エネルギー活動と従業員教育

タイ・アロー・プロダクツ株式会社(以下、TAP)は、1967年に創業し、現在は豪亜地区における矢崎グループの主要生産拠点のひとつとして、約12,000名の従業員が働いています。環境保全活動においては省エネルギー活動のほか、最近では製品に含まれる環境負荷物質の確実な遵守のため、教育や監査も積極的に行っています。

### 省エネルギー活動の推進

TAPチャチェンサオ工場では、約4,400名の従業員がワイヤーハーネスのほか、電線、射出成形部品、ビニールテープなど多くの製品を製造しています。このため電力使

用量が大変多く、矢崎グループの豪亜地区におけるCO<sub>2</sub>総排出量の約4分の1を占めています。

そこで2015年度は、エネルギーの使用側と供給側の両方の側面から省エネルギー化に取り組んでいます。この活動では、毎月1回、工場内のすべての部署を対象に大部屋活動を実施し、省エネルギー活動に対する従業員のマネジメント力向上と、改善の進め方のスキルアップを図っています。

この活動は、省エネルギー化の推進だけにとどまらず、品質向上や生産性改善の進め方にも応用され、多くの効果が期待されています。



報告会の様子

### 省エネルギー活動の考え方

